

# 架け橋

「社会教育士」は、社会教育主事講習等規程の一部改正によって令和2年度から始まった制度です。このロゴは支える学びの先にある多様な人々が連携・協働する様子を表しています。

社会教育における学びは、色も形も違う人と人、組織と組織などを、色も形も多様なまま、つながりを作っていきます。



社会教育士

## 令和5年度上都賀地区ステップアップ研修 I

会場：菊沢コミュニティセンター  
日程：11月7日(火)

- 1 発表「社会教育主事講習を受講して」R5社会教育主事講習修了者（9名）
- 2 説明「上都賀地区現職教員社会教育主事会について」  
〔ファシリテーター〕上都賀地区現職教員社会教育主事会 諸橋 順子 氏
- 3 講話・演習 湯澤 浩之 氏  
「これからの学校・家庭・地域の協働・連携～価値ある目標の共有を通して～」  
〔講師〕ふくしま学校と地域の未来研究所代表  
（文部科学省総合教育政策局CSマイスター） 安齋 宏之 氏

本地区では、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、今年度より、鹿沼市・日光市においてコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が全校に導入されました。学校づくり、地域づくりの新たな転換期を迎えた今、学校教育と社会教育の両方の知見を持ち合わせた社会教育主事有資格教職員には、学校と地域の連携・協働の推進役としての大きな役割が期待されているところです。



今回の研修は、社会教育主事有資格教職員の資質・能力の向上のため、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の機能を活用した保護者・地域住民参画・協働型の学校経営について学ぶことをねらいに実施いたしました。

当日は、今年度の社会教育主事講習修了者による「学んだこと」の御発表のあと、CSマイスターの安齋 宏之先生から「価値ある」学校教育目標の作り方や学校運営協議会を機能させていく方法について具体的に御教示いただきました。大切なことは、子どもの豊かな未来の姿を願いながら、教職員・保護者・地域住民が一緒になって熟議を重ね、皆で納得解を見つけていくプロセスを共有していくことであると学びました。また、後半の演習では、熟議体験を通して本地区の学校・家庭・地域の協働・連携上の課題について見える化することができました。

研修終了後のアンケートには、

- ・話し合い、対話の取り組みによって、地域の未来を明るくしていきたい。
- ・「できない」ではなく「できる」ことをみんなの知恵で探していくことが大切。
- ・学校教育目標について改めて考えさせられた。今後CSの推進を考えていく際にも意識したい。などの感想が寄せられていました。



## 鹿沼市立上南摩小学校 宮澤 健太郎主任

まずは、自分の身近なところから「つながり」を作っていきたいです。そのつながりを活かし、勤務校や地域の課題解決の切り口を模索できるような社会教育士になりたいです。

講習で知り合った仲間や身近な人とのつながりを大切にして、相互に学ぶ関係を築いていけたら嬉しいです。



## 日光市立大室小学校 巻嶋 裕志教諭

地域の一員としての意識を持ち、一緒に活動することを通して、関係をつくっていくことが大切。自分から地域の活動に参加していきたい。

また、コミュニティ・スクールを活性化させるために、地域と学校が協働できる会を計画し、よりよい学校と地域のつながりづくりに努めたい。



## 鹿沼市立楡木小学校 大八木 俊秀教諭

人間は幸せになるために学ぶ。そのためには、他者とつながることが必要で、そのつながりを作っていくことが社会教育の役割である。

できれば地域連携教員となって、勤務校の地域の方々とのつながりを作り、子どもたちのためにできることを連携・協働して取り組んでいきたい。



## 日光市立今市第三小学校 岩井 敏行教諭

講習会を通して得た「知識」「アイデア」「出会い」を有効に活用し、地域（勤務する地域、自分が生活する地域）のコミュニティの「つながり」を強くする活動をしたいです。

具体的にやりたいこと ①地域の行事に積極的に参加する、②保護者とのつながり活動に参加する、③まちづくりの勉強会に参加 etc...



## 鹿沼市立東中学校 和久 枝里子教諭

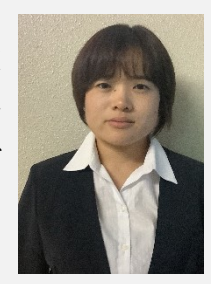
社会教育は、人が暮らしていく中で学ぶ習慣を身に付け、困りごとや課題があったときに「まず学んでみよう」という市民になるための学習である。社会教育が充実すれば、社会が安定し、地域や学校にも幸せをもたらすことができるので、社会教育を推進していくことは、人々が幸せになる種をまいていることだと学んだ。



## 日光市立下原小学校 森川 純恵教諭

人は「つながる」ことで幸せに生きることができる、講習中何度も聞いた言葉です。人と人との繋がり作りをサポートすることが社会教育主事の役目だと思います。

目の前の子どもたち同士との繋がりを、地域と子どもたちとの繋がりを大切に、たくさんの人と関わりながら成長できるような子どもたちを育てていきたいです。



## 鹿沼市立西中学校 田中 洋輔教諭

社会教育に携わる教員として、「地域のことは、実は自分のこと、地域でどのように生きていくのかに気がつく人」「高齢者や女性、生きづらさを抱える人たちのことも考えていける人」「参加しない人も排除せず、何度でも声をかけていくような人」

といったような「地域づくりの主体になる人」になりたい。



## 県立鹿沼商工高等学校 室井 和也教諭

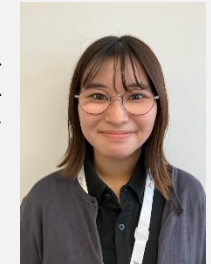
「中教審特別部会高等学校教育の在り方ワーキンググループ中間まとめ（案）令和5年8月24日」で示されている方向性を意識しながら、高校に関するさまざまな取組が創造・推進できるよう、微力ながら尽力していきたいと思っています。講習等で出会った方々とのつながりを大切にしながら、がんばりたいと思っています。



## 日光市役所企画総務部人事課人事研修係 小林 萌生主事

講習受講後、会議でアイスブレイクを取り入れようと考えてみたり、会議の座席の配置、進行などを見直してみたり、参加者の方が意見を言いやすい明るい雰囲気づくりを意識するようになりました。

今後も、社会教育主事有資格者としてひっそり活動したいと思っています。



発行：上都賀教育事務所ふれあい学習課  
協力：上都賀地区現職教員社会教育主事会  
問い合わせ：鹿沼市今宮町 1664-1 (0289-62-7167)  
kamitsuga-fureai@pref.tochigi.lg.jp

